



ゼロカーボンのまち、杉並へ

ブランチャー明日香

杉並区議会議員 会派：シスターフード杉並
都市環境委員長

カワセミ通信

VOL.9 (2026.1.1 発行)

本年もよろしくお願いたします。

2025年 第4回定例会(11/19-12/10)

補正予算:物価・労務費高騰対策、擁壁アドバイザー派遣事業など議会で可決

杉並区は、今議会で補正予算総額：11億7,690万5千円（36事業）を提案。堀ノ内一丁目擁壁倒壊事故を受け、区では、擁壁アドバイザー派遣事業を発足。所有者への早期の安全対策を支援します。また、区では、職員の「エンゲージメント向上に向けた取組」を実施中。調査、検討プロジェクトチームによる対策へと繋げています。その他、ワンウェイプラスチック使用削減のためリユース容器貸出事業について、想定を上回る利用実績に伴い補正予算などが執行され議会で可決されました。その他の区提案議案は賛成多数で可決されました。



補正予算について記者会見をする岸本聡子杉並区長 (杉並区HPより)

区議会超党派23名で、杉並暑さ対策議員連盟発足！



最高気温が41.8度という史上最高温を記録した今年、10/10に杉並区議会議員有志23名による暑さ対策議員連盟が誕生しました。議員たちが会派を超えて集まり、「暑さ対策」をテーマに、科学と事実に基づいて研究・情報共有・意見交換することを目的とする議員連盟です。12月16日には江守正多先生を招いて第1回目の勉強会を実施しました。(写真はメンバー議員の一部)

東京のごみ問題について一般質問

「循環型社会の実現に向けた清掃事業について」

東京のごみ清掃事業は「収集(23区)→焼却(清掃一組)→埋立(東京都)」という三層構造に分かれているため複雑です。焼却灰を埋め立てている最終処分場はあと約50年余でひっ迫します。

Q:焼却依存から脱却できる循環型社会への議論は進んでいるのか？

A:再資源化施設は「技術・費用」の課題があるが、新技術や他自治体の事例を注視して検討を続ける。

Q:生ごみ・剪定枝・草葉などの有機ごみを資源化する仕組みをつくれぬか。公営で再資源化、堆肥化などの“燃やさない施設”を検討できないか。家庭堆肥の「出口」や、学校・飲食店の食品ロス削減、落ち葉コンポストの拡大は？

A:食品ロス、学校給食の削減、飲食店とのフードシェア連携は強化していく。剪定枝の資源化は一部実施済み。家庭から出る生ごみの循環は、現在どのような方法で生ごみを循環させて資源とすることができるのか検討中。

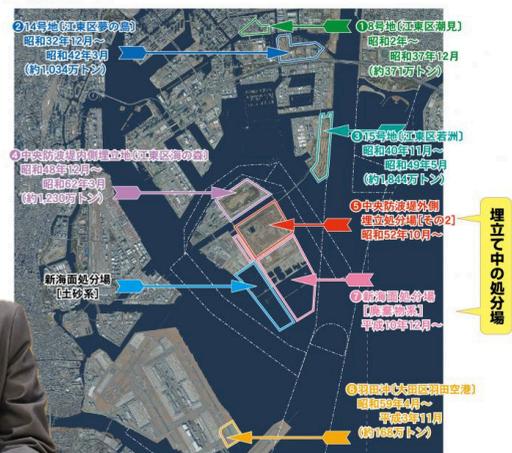
Q:杉並区は23区で1人当たりの1日ごみ排出量が最も少ない自治体の一つです。杉並区から“燃やすから循環へ”の転換へ向けてリーダーシップを発揮できるのでは？

A:岸本聡子区長からは、「循環経済への転換は極めて重要。特別区長会においても問題提起し、特別区一体となって取り組めるよう、気運の醸成に努めていく」と答弁がありました。今後の杉並区の積極的な働きかけに期待します。



ブランチャー明日香 一般質問 録画

●埋立時期と埋立量



(資料提供：東京都環境局) 東京23区清掃一部事務組合HPより ©東京都

外環道シールドマシン 12月中に杉並到達 事業者は住民の心配や不安に寄り添う体制作りを！



現在の外環道路工事の進捗状況は外環プロジェクトHPで確認できます。

練馬区で地域住民から、 低周波音や振動による健康被害の声

外環道工事は、地下約40mをシールドマシンで掘進します。2020年、調布市つつじが丘で陥没が発生、現在も事故後の地盤修復工事が続いており、地域住民は大きな影響を受けています。練馬区では7軒の住民から低周波音や振動による健康被害や身体への異変が報告され、工事期間中、ホテルへ避難された方もいます。

【杉並区でオープンハウスと意見交換会開催】
日時：2026年1月21日（水）午後6時～8時
会場：勤労福祉会館（杉並区桃井4丁目3番2号）
オープンハウスは出入自由。意見交換会は以下のメールまたはFAX宛にお申し込みください。
Eメール ktr-gaikan@mlit.go.jp FAX 03-3707-3648

最初のシールドマシン到達エリアである善福寺3,4丁目の住民の方々への情報周知徹底が急がれます。工事と因果関係を確認するためにも、しっかり質問や意見交換のできる環境で丁寧な情報共有と説明の場が必要です。事業者は、直上付近には小学校や幼稚園や児童館があり、施設側や保護者がしっかり対応できる体制を作るべきです。



杉並区に到達するシールドマシンは本線トンネル(南行)大泉南工事グリルドと本線トンネル(南行)大泉南工事カラッキエの2本(地図上はカラッキエのみ表示)です。

都市環境委員会で行政視察へ

【武蔵野市と葛飾区へ】
10/22、都市環境委員会として、都内2自治体の環境政策を視察。類似点が多い近隣自治体から多くのことを学ぶことができました。
・武蔵野クリーンセンター見学。ごみの再資源化を学ぶ。環境啓発施設である、むさしのエコreゾートの取り組みを学ぶ。
・葛飾区の「ゼロエミッションかつしか」の全庁的な取り組みとZEB readyを取得した清掃事務所を見学。葛飾区職員の方から「当区は2030年にはカーボンハーフ行けると思います。」との力強い答弁に感激！



明日Cafe「区政おしゃべり会」

1/17(土) 17:00-18:45
会場：ブランチャー明日香事務所
杉並区上荻1-24-12 第一浅賀ビル2A
1/31(土) 15:30-17:00
会場：西荻地域区民センター第4集会室

ご予約不要

決算特別委員会で環境政策等について質問

杉並野菜の活用
都市農業が減少する中で、給食や区内飲食店でも可能な限り杉並の生産物を使い、環境負荷の少ない食べ物を出すために協力店の認定など積極的に取り組んでほしい、と区に求めました。
地球温暖化対策：今後区は残り4年半という短い期間でどのような道筋でカーボンハーフを実現する予定か、実績と見込みを調査しました。具体的な施策を示すロードマップの必要性を訴えました。
災害時には避難所となる体育館の再エネ化の必要性：軽量でフレキシブルな屋根置きパネルについての検討を提案。
太陽光パネルリサイクル法が義務化されていない日本：再エネを拡充する上で10年20年先に大量廃棄されるパネルの処理の道筋を示すことが求められます。杉並区は東京都と連携して適切なリサイクルの仕組づくりを研究していくとの方向性です。

会派として来年度予算要望を実施

シスターフッド杉並は2026年度予算要望を岸本聡子区長に提出しました。気候変動対策、ジェンダー平等、生活困窮者、高齢者支援、多文化共生など多角的な分野から予算要望書を作成。地域のみなさまとも面談を行い、多くの意見や要望を反映させて頂きました。ご協力ありがとうございました。



ブランチャー明日香

緑の党グリーンズジャパン(会派 シスターフッド杉並)
ブランチャー明日香事務所：東京都杉並区上荻1-24-12 第一浅賀ビル2A
お問い合わせ:090-8487-5406 (事務局)
aska.minnanomachi@gmail.com
長崎県出身。カナダオンタリオ州立ヨーク大学 社会人類学部卒業。
2023年5月より杉並区議会議員

公式HP

